

福島第一原子力発電所における労働環境の改善

福島第一原子力発電所においては、4号機の燃料プールからの使用済み燃料の取り出しが2014年12月に完了した。現在は、3号機の燃料プールに残っている大きな瓦礫の除去を行っている。また、1～3号機の使用済み燃料と燃料デブリを取り出すための準備作業が進行中である。

このような状況下で、1日当たりの作業者は約8,000人であり、さらに増えることが予想されている。このような理由から、労働環境の改善は、将来のデコミッショニング作業に対して重大な影響があるといえる。

今回の発表では、特に福島第一原子力発電所の状況に関する以下の4点について述べている。

- ① 放射線量の低減計画
- ② フルフェースマスクをかぶる必要がないエリアの拡大
- ③ 福島第一原子力発電所内における線量率モニタの設置
- ④ 大きな休憩建屋

このような努力を通して、我々はデコミッショニング作業を着実に安全に進めていくことに専心している。